

1 国語に関する調査

【特長】

- ・既習の漢字を使うことや、語句の意味を踏まえて、文脈上の意味を捉えることは多くの生徒ができていた。
- ・授業の中で小グループによる話し合い活動を取り入れているため、話し合い活動での意見と根拠など、情報と情報との関係について、多くの生徒が理解できていた。

【課題】

- ・自分自身の思いや考えを記述表現する問題での正答率が低く、記述式の問いに対する無解答率が高かった。
- ・文章の内容を正確に理解し、それをもとにまとめることに課題がある。文章中から必要な情報を読み取り、自らの言葉に変えてまとめる力を身に付ける必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・素因数分解や簡単な連立方程式など基礎の問題に対し、解答している生徒の割合が高かった。
- ・方程式や等式などの単純な計算や資料の読み取りについて、解答が選択式・短答式の問題は多くの生徒ができていた。また、文字式や図形における角度の性質などの基本的な知識が身につけている生徒が多かった。

【課題】

- ・問題文から情報を読み取る力を養うために、今後、たくさんの文章問題に触れ、自分で情報を読み取る力を養うことが課題である。
- ・証明した事柄から、新たな性質を見出すことやそれを利用する問題において課題がみられた。また、与えられた情報から必要な情報だけを的確に選択して処理することに課題がみられた。

3 英語に関する調査

【特長】

- ・「聞くこと」においては、必要な情報を正確に聞き取ることができる問題がよくできていた。また、「書くこと」においては、短文の読み書きはよくできていた。
- ・「話すこと」においては、無解答率が低く、質問の内容をおおむね理解しているとともに、文法事項等の誤りがなく答えている生徒が多かった。

【課題】

- ・自分の考えを書いたり、話したりする問題では正答率が低く、無解答率も高くなっているため、自分の考えを整理し、書いたり、話したりする表現活動がより必要である。
- ・「読むこと」については、英文をより正確に読み取る技能に課題がみられる。特に長文から概要を捉えたり、自分の考えを書いたりする問題などには課題がみられた。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 読書が好きな生徒や、タブレット端末など ICT 機器が学習に役立つと考えている生徒の割合が高い。平日に家で学習している時間も比較的長く、学習に前向きに取りもつとする姿勢がみられる。
- 「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立ちたい」、「いじめはいけない」などと考えている生徒の割合が高いことから、前向きに毎日を過ごし、周りの人を思いやる気持ちがあると考えられる。

【課題】

- 起床、就寝において、生活リズムが整わない生徒の割合が高い。今後、受験生として規則正しい生活を送ることができるよう、呼びかけをしていきたい。
- 友人関係などに不安を感じている生徒も多かった。また、悩みなどがある時に周囲の大人に相談しにくいと感じている生徒もいるため、気軽に相談できる支援・相談体制を整えていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 各教科などで、一人一台のタブレット端末など ICT 機器の活用を進めてきた。今後、更にわかりやすい授業を工夫し、復習を効果的に行うなど知識の定着を図る。
- それぞれの生徒の活躍の場を増やすことでよいところを認め、自己肯定感を高めていく。
- 生徒と教員のつながりを、日々の学校生活や行事などを通して一層深め、悩みなども相談できる関係性を築いていく。
- 各教科の授業、特別の教科 道徳や総合的な学習の時間、さらに校内外の行事などを通して、命の大切さを引き続き伝えていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 早寝早起きなど、生活リズムを整え、家庭学習にも計画的に取り組むことができるよう、ご家庭での声かけをお願いします。
- 子どもたちの自己肯定感をさらに高めることができるよう、学校だけでなくご家庭でも、積極的に生徒の良いところを認めていただきたいと思います。
- 今年度も、生徒が地域で活躍できる行事やボランティアの場をいろいろ企画していただき、ありがとうございます。おかげさまで、この調査からも地域の行事への参加率の高さがみられました。これからもよろしくお願いいたします。